



# 個室ユニット 推進協ニュース

Number 119

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

1面 どう乗り切る介護人材不足  
【みんなと暮らす町】 神奈川県  
【東雲の丘】 沖縄県  
国政ニュース  
こちら傍聴席

2面 新年のご挨拶 (会長・副会長・委員長)

3面 施設紹介【みくらの里】静岡県  
【コラム】「法令順守」と「職業倫理」  
取組紹介【昭寿園】宮崎県  
取組紹介【さくらの舞】岐阜県  
取組紹介【明尽苑】千葉県

4面 介護ニュース・ダイジェスト  
ズバリ回答！人事・労務のお悩み  
【連載】第9回 高齢者のリハビリ  
【用語解説】N3、生体電位信号

## どう乗り切る介護人材不足

### 介護の分業化や外国人介護士で対応

#### 先進的に取り組む施設トップらに聞く

介護職員不足が拍車をかけている。介護報酬マイナスイラスト改定などによって人材確保が厳しくなっている状況の中で、介護業務を分業化したり、外国人労働者を活用したりして乗り切ろうとしている会員施設がある。特養「みんなと暮らす街」（川崎市）と同「東雲の丘」（沖縄県南城市）の方々に取り組みのきっかけや抱負、年内にも始まる外国人技能実習生受け入れへの考えなどを聞いた。

### 【みんなと暮らす町】

#### 2017年の抱負について



特養「みんなと暮らす」を運営する高橋照比古理事長（社会福祉法人照陽会）

「特養を始めた頃と比べて、制度も変わり厳しい時代になった。人材難・稼働率・人件費率、加算状況なども考慮しなくてはならず、私が最初に求めたご入居者様とのふれあいや清潔なお風呂にゆっくり入っていただけの生活は遠い話になってしまった」と話す。厳しい時代ではあるが、最初に目指した「夕映えに佇むご老人方との生活」の実現に向けて入居者・職員双方で作り上げる「自由・気ままに勝手に過ごせる」個室ユニットを推し進めていきたい。そして、介護が必要になっても身近に私達がいると思っただけのような施設作りを継続して行っていく」と特養の果たす役割について強調した。

### 介護の分業化の提案



広島施設長 設長（みんなと暮らす町）は「特養の場合、専門職が行う業務を分業することで、専門職はより専門

と専門性を有さずとも出来る業務が混在している。専門性を有さずとも出来る業務を分業することで、専門職はより専門

### 導入までの経緯

#### ◇2時間スポットパートの採用

広島施設長は「働きたいけど長時間だと働けない。働く側のニーズに沿った働き方を考え、8時間の常勤配置のイメージを捨て、2時間スポットパートを導入した。介護福祉士の有資格者で施設経験者を優先して採用することで、現場でのOJTの負担軽減にもつながり、即戦力として活躍してもらえ」と話した。

短時間勤務では高い時給を設定しているが、週最大10時間（2時間×5日）を上限とすることで、各種保険の支払いが不要となり、雇用保険に満たない金額で高い給与を提示できるメリットもある。また、介護の垣根を取り外すことが目的で、インターンシップのような形で高校生を採用している。若いうちから介護に慣れ親しんでもらうことで、将来の可能性も広がるのではないかと考えている。現在、4名の高校生が働いている。

◇ベトナム人留学生の採用

広島施設長は採用の経緯について「知り合いから、ベトナム人留学生にアルバイトを紹介する「ベトナム」を紹介してもらったことがきっかけで、ベトナム人留学生の雇用に至った。授業後の午後14時から21時までの間で、週28時間以内で働いてもらっている。2ユニットに1人配置し、現在、6人が働いている」と話す。

紹介手数料は、一人につき5万円。ビザの更新や、わからない事があつた時には、「ベトナム」が相談のつてくれるので安心。雇用契約は3カ月更新にして、継続して働いてもらう取組みをしている。

初歩的な「ステップ1」から、知識を要する「ステップ3」までの3ランクを設定し、努力次第で給与が上がる仕組みを作った。人材は定着している。

ベトナム人留学生のファン・ティタイさんは「仕事は楽しい。職場の人は皆優しいです。高齢者の方とお話するのは楽しいです」と話す。

ステップ1	物品補充、洗濯物たたみ等
ステップ2	ベッドメイク、食事の配膳等
ステップ3	レクリエーション、記録の入力、簡単な介助



食事介助するファンさん

### 【東雲の丘】

#### 戦略的パートナーシップ



石島理事長（社会福祉法人人憲会）は「厳しい時代です。EPA

による人材確保、ユニットリーダー研修実地研修施設、ユニットケア研修指導者、認知症介護実践研修指導者の育成など研修体制の確立や、1日3食の配食サービスを実施し、地域とのつながりを強化してきた」とこれまでの取り組みを語った。

そして「施設間で競争するのはなく、チームを組みパートナーと共に地域貢献、国際交流、国際貢献を戦略的に進めていきたい。そして、質の高い日本式介護としてのユニットケアを広めていくことが、社福の役割だと考えている」と抱負を述べた。

### EPA候補生を定期的に受入れ

東雲の丘では、平成22年にインドネシア、23年にフィリピンから受け入れを開始し、今年で8年目を迎える。27年は5名、28年は4名の外国人を受け入れた。

介護福祉士試験の合格率は75%と高い。石島理事長は「EPAはお金がかかるという人もいますが、国際厚生事業団が窓口なので安心だ。候補生を継続して受け入れてきたので、定期的な人がいるという安心感もある。介護技能実習生の受け入れはリスクもあるが、時間をかけて伝えれば理解してもらえる。実習生が自国へ戻り、日本式介護を実践することで、その国の介護力が高まり国の繁栄と発展に繋がる」と語った。

### 求めるハードルを高くしない

仲村寿代副施設長は、米軍基地で14年間勤務した経験を活かし、25年からEPA介護福祉士受け入れ担当になった。仲村副施設長は「候補生に求めるハードルを高くしないことを心がけている。N3（小学校高学年程度の日本語力）だから理解できるはず」と考えず、優しい単語を使い、ジェスチャーを交えてゆっくりハッキリ話すようにしている。こちらが伝えたいという思いを持つように、相手も伝えたいという強い思いを持っているので、言葉の壁を越えた意思の疎通は可能だ」と話した。

また「候補生は看護師の資格は持っているが、業務経験はない。しかし、無資格未経験、社会経験なしの日本人より適応能力が高いと思う」と述べた。

東雲の丘では、常にトレーナーと一緒に過ごすプリセプター制度を導入している。徐々に一人での業務時間を増やし、3〜4ヶ月で1人立ちするそうだ。

### ユニットケアだからこそ

アンディー・ボンファシヨさんは27年にフィリピンからやって来た候補生。

「東雲の丘は、家、家族です。一番大事なものはプライバシーを守ること。人格を尊重すること。ユニットケアだから、入居者のことを深く知ることができて良い。ただ、入居者の言葉が（地元の方）方言なのか、方言ではないのか」と話した。



仲村副施設長とアンディーさん

「うーん... 昨年の10大ニュースかあ」と話した。

## 国政ニュース

◎社会保障費1400億円圧縮 (12月19日)

塩崎厚労相と麻生財務相の折衝が行われ、29年度予算案では社会保障費の自然増分を概算要求額より約1400億円圧縮し、5000億円程度とすることで合意した。

◎社会保障費は微増 29年度予算案 (12月22日)

政府は29年度予算案を閣議決定した。一般会計総額は97兆4547億円（前年度比0.8%増）で過去最大。うち社会保障費は32兆4735億円（1.6%増）4面「ダイジェスト」参照。

### ウの目タカ目

#### こちら傍聴席

◎勝手に「介護10大ニュース」

○：平成28年は消費税率再引き上げが先送りされたこともあり、介護保険制度見直しをめぐる論議は盛り上げに欠けたが、改正社会福祉法案が成立し、社会福祉法人の運営は大きな転機を迎えた。記者3人に重要ニュースを選んでもらった。

○：政策絡みでは、「改正社会福祉法が成立」（3月）、「消費税率再引き上げ2年半先送り」（6月）、「公取委が混合介護の拡大を提言」（9月）、「総報酬制を段階的に導入」（12月）、「29年度予算案で社会保障費の自然増分1400億円を圧縮」（同月）の5件。

○：介護現場で話題になったのは、「川崎の有料老人ホーム転落死で元職員を逮捕」（2月）、「1億総活躍プラン（介護職員給与1万円相当引き上げ）を閣議決定」（6月）、「介護保険サービス利用者600万人突破」（8月）、「外国人技能研修職種に「介護」追加」（11月）、「現役並み所得者 利用者負担3割へ」（12月）の5件。「今年には診療報酬と介護報酬の同時改定（30年度）の前哨戦。熱い議論を期待したい」との意見で一致した。（植）





# 平成29年

# 謹賀新年



## 会長 赤枝雄一

社会福祉法人兼愛会 理事長



明けましておめでとうございませう。

当協議会も設立して今年で12年目を迎えます。皆様のお力添えに厚く御礼を申し上げます。

さて、社会福祉法人、介護福祉施設を取りまく環境も設立当初とは大きく変わりますが、当協議会が発足してから一貫して要求してまいりました「インセンティブの働く介護報酬の制度化」を目指し、本年も更に活動を強化してまいる所存です。

また、今年から有識者の方々と交えた当協議会独自の研究会を立ち上げまして、人材不足に打ち勝つ質の高いサービスの提供を追求した個別ケアの推進にも力を入れてまいります。

本年も会員の皆様がお力添えを賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご多幸・ご健勝をお祈り申し上げます。



## 副会長 諸隈 正剛

佐賀支部長

社会福祉法人天寿会 理事長



個室ユニット型のこれから

早いもので今年「全国個室ユニット型施設推進協議会」を立ち上げて12年、ちょうど干支の一回りの年に当たります。

## 副会長 野邊 正涼

社会福祉法人黒潮会 理事長



日本の高齢化率は過去最高をむかえ世界でも類を見ない超高齢社会となっております。介護の現場では2025年問題や介護職員不足等課題が多く、国

## 副会長 高木 邦格

国際医療福祉大学 理事長



本年は平成30年度の医療・介護同時改定に向けての議論が本格化する年となる

## 副会長 李野 暉尚

社会福祉法人サン・ビジョン 理事長



今年、社会福祉法人制度改革が本格的に施行される変化の年となります。

この間、介護報酬のマイナス改定、介護保険にかかわる様々な改正、例えば特養入居要件が原則要介護度3以上に絞られたように厳しくなりました。最も重大なことは平成29年4月から本格施行される、新しい社会福祉法人制度に移行させられることだと考えています。

一方で利用者・ご家族、地域の方々からの個室ユニット型に対する評価は良くなってきていることを実感しています。特にだれもが迎える「死」に対する個室ユニット型の評価は良いと感じています。寿命の終わりが近づき、食糧が足りなくなると、自然に死を希望される本人・ご家族が増加しているように思います。食糧が足りなくなると、脳内麻薬といわれるβエンドルフィンが分泌され、痛みや苦しみが緩和され、自然に死を迎えられると科学的に証明されているようです。

民誰もが知る現状となっております。特に介護現場での労働力が改善していかないことで、今後も厳しい現状が継続する勢いです。法人独自で給与や手当の増額など安定した生活が提供できる準備はしているものの、働き手不足は歯止めがきかない状況にあり、介護離れは一向に改善していません。外国人労働者の雇用や介護ロボット・ICTの導入などケアの内容も大きく変化していく時代となっておりますが、先

行きが見えない状況もあり、不安だけが募る思いではないでしょうか。社会福祉法人も大きな節目を迎えております。各法人の考え方やケアのあり方など施設独自の取り組みを外部へアピールし、法人一体となった取り組みが今後より一層必要となりますので皆様と共に取り組み、実のある高齢社会を構築していきたいと思っております。

りますが、この改定に対し、既に社会保障費抑制を目的とした給付縮小への意見が多く聞こえてくる状況にあります。当協議会としては、議論の動向を注視しつつ、個室ユニットケアの推進を目的に、施設の安定経営に向けて、必要な対応を取っていく一年になるかと存じます。

多くの会員施設におかれましては、4月の社会福祉法改正の本格施行を前に、ご対応の最中かと拝察致します。安心できる医療福祉の実現に向け、微力ながら当協議会の活動に貢献できるよう努力致します所存でございますので、本年も引き続き、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

また、雇用が厳しい中、一人でも多く職員採用に繋げるため、既存の概念にとらわれない経営と改革を行い、さらに、昨年開催された全国研修大会「新潟の大会宣言」1. インセンティブの働く介護報酬の制度化「2. ロボット・ICTの活用」にしっかりと取り組み、環境を変えていくことが必要だと考えます。

そして、国の社会保障費圧縮の動向と、平成30年に想定される介護報酬マシナス改定に備え、経営の合理化をはかる準備期間の1年でもあります。明るい未来とさらなる発展のために、各法人が知恵を出し合い、共に取り組んでいきたいと思っております。本年も宜しくお願い申し上げます。

## 介護保険委員長 藤村 二郎

社会福祉法人久住会 理事長



平成30年度は、医療・介護報酬の同時改訂を迎え、多様な議論が飛び交う年と成ります。特に特養における看取りケアを含む医療のあり方については、注視すべきことと考えています。様々な意見をお寄せいただければ幸いです。皆様にとって良い年と成ることをお祈りいたします。

## 総務企画・広報委員長 栗野 裕治

社会福祉法人八生会 理事長



広報委員会は今年も会員の皆様に介護制度、厚労省などからの最新情報を素早くお知らせすることや、各施設現場で取り組んでいる特色ある介護実践事例等を推進協ニュースで紹介し、さらなる会員拡大に努めてまいります。

## 研修委員長 江澤 和彦

老健部会代表、山口支部長



いよいよ社会保障・税一体改革の天王山2018年4月の前夜に突入です。医療計画・介護保険事業計画・医療費適正化計画・診療報酬・介護報酬の全ての節目が揃う惑星直列に対し、肅々と不動の精神で相対していく所存でございます。今年も会員施設に資する実のある研修会を開催したく何卒よろしくお祈り申し上げます。

## ユニットケア研修事業推進室長 井手 明利

宮崎支部長



国のユニットリーダー研修に関する調査研究事業でテキストや指導要領作成について参画し、ケアマネジメントの重要性についても意見を述べてきました。今後は、実習施設の拡充と尊厳を守るケアの実現へ向け取り組んでまいります。

## 事務局長 赤枝 眞紀子

特別養護老人ホームしゅじゅの里 施設長



ユニットケア研修も順調に進んでおります。皆様のご支援に感謝申し上げます。とともに、更にユニットケアの良さを広げ、会員拡大につながるような年にしていきたいと思っております。本年もよろしくお祈り申し上げます。

# 静岡県

## 社会福祉法人 梓友会 介護老人福祉施設 みくらの里



下田市

### ～ 明るく笑顔の絶えない長寿社会の実現を「地域とともに」～

【地域紹介・施設紹介】  
伊豆半島の最南端に位置する下田市は黒船来航により日本で一番最初に港が開かれた町です。

梓友会は昭和63年社会福祉法人の認可を受けました。梓友会の原点は「地域とともにあること」で、明るく笑顔の絶えない長寿社会の実現のために、梓友会の介護サービスのノウハウすべてを開放し、地域社会の基幹的役割を果たす施設運営をめざしてまいります。



施設全景・冬の夜はイルミネーションを点灯

平成17年2月にみくらの里を開設。全室個室・トイレ付のユニット型の施設となっております。

【見取り介護の充実】  
みくらの里では見取り介護の充実に取り組んでいます。施設で最期を迎える方は年々増加しており、ここ数年では退所される85%前後の方がみ



HALを装着した移乗練習



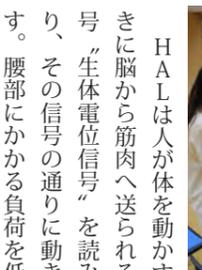
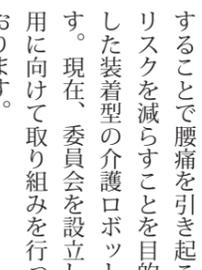
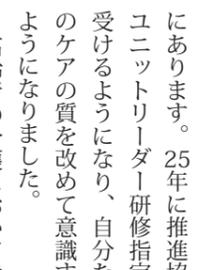
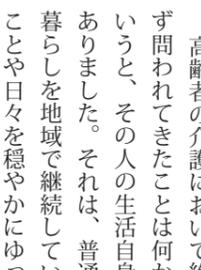
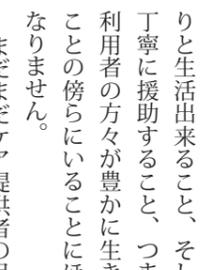
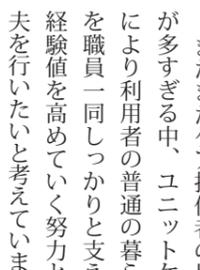
サイバーダインのHAL

認知症予防としてのくもん学習療法法の導入や、ISO9001の取得を行い、25年には静岡県で2番目のユニットリーダー実地研修施設として認定を受け、個別ケアを実践・提供しております。

【介護ロボット導入】  
近年入居者の重度化が進んでいる事を受け、みくらの里では3年前より移乗リフト・個浴リフト・移乗用ボード等の導入しました。

導入後、入居者・介護者双方の負担軽減を実感した為、今年度は介護現場でロボットの次世代技術を学び、様々な年代で働きやすい環境作りを行う目的として「サイバーダインロボットスーツHAL」を導入しました。

【川島優幸施設長から】  
みくらの里が創設されてから11年が経過しております。私たちがケアの現場で目指して来たことは利用者一人一人のQOLを高める取り組みにあります。25年に推進協のユニットリーダー研修指定を受けるようになり、自分たちのケアの質を改めて意識するようになりました。



〒415-0028 静岡県下田市吉佐美1086 TEL:0558-27-3000 FAX:0558-27-3001

【定員】特養80名、ショート20名、デイ30名

### 「法令順守」と「職業倫理」

私たちは、日々の業務の中にも常に法律や条例を遵守しながら業務を遂行していかねばなりません。しかし、現実はどうでしょう……？



職場での法令遵守、介護保険法令の遵守、社内規定やマニュアルなど今一度、考えてみる必要があるかもしれません。

【なぜ、法令順守が必要なのか】  
私たち介護サービスは公益性の高い事業です。利用者にとって不利益にならないよう、サービスの質を確保することが求められており、そのために法令で様々な基準やルールが決まられています。介護事業は毎年100件ほどの指定取り消しが発生していると言われています。

そのことから、介護事業者は法令や倫理を守ってコンプライアンス（法令遵守）の意識を高め、法人理念に基づくサービスを提供しなくてはならないのです。介護事業では、主に介護保険制度を利用してサービスを提供します。一般の民間企業より社会資源としての意味合いが強くなります。

また、収入の多くは介護報酬であり、保険料や税金が財源となるからです。そのため、社会に対してさらに厳しくコンプライアンスが求められるからです。

### 【日々の業務を通して取り組むポイント】

①定期的な施設内監査の実施②人員基準・施設基準を証明する書類の整備③計画や記録の整合性をとる④サービス内容と時間配分の記録⑤あいまいな部分は保険者に問合せ、記録するなどです。

### 【介護事業者が守るべき法令】

「介護保険法」「老人福祉法」「社会福祉法」「高齢者虐待防止法」「高齢者医療法」など、介護福祉に関係する法令。「老人六法」「社会福祉六法」「自動車六法」など、各六法。「個人情報保護法」「消防法」「建築基準法」など、一般的な法令。「労働基準法」「労働者派遣法」「高齢者雇用法」など労務面に由来する法令などです。  
(しよじゅの里鶴見施設長 秋津克巳)

社会福祉法人敬和会  
昭寿園サンヒルズ(宮崎県)  
統括施設長：谷口弥三郎

こんにちは。宮崎県日南市にある特別養護老人ホーム昭寿園サンヒルズです。

昨年、南海トラフ地震津波対策で、海岸沿いに隣接していた旧施設より高台へ移転いたしました。

さて、当施設は7月に起きた相模原障害者施設での事件を受け、警備会社と契約し防犯センサーを設置、また防犯用具として、さすまたと催涙スプレーを導入しました。

非常時(センサー感知時)には、警備会社経由で警察にも通報され、当施設に駆けつけてくれるシステムとなっております。先般は契約先であるアルソック様に来園いただき、施設職員が、さすまたの使用指導を受けるなど防犯対策に取り組んでおります。(事務部長：鈴木裕次)



南海トラフに備え高台へ移転



さすまたと催涙スプレー



さすまたの使用指導を受ける職員



物に反応する防犯センサー

社会福祉法人さくらゆき  
さくらの舞(岐阜県)  
施設長：依田充朗

### 和と洋のコラボ演奏でクリスマスイベント



ハーモニカと尺八の演奏に参加



クリスマスケーキをデコレーション

12月21日に、特別養護老人ホームさくらの舞にて「さくらの舞」のご入居者と、隣接する同法人の障害者生活介護施設「ゆきの舞」のご利用者がクリスマスイベントを行いました。

ボランティア団体の「ハーモニカ岐南フレンドシップ」によるハーモニカと尺八を使った和と洋のコラボレーション演奏では、入居者と利用者がクリスマスソングに合わせて「トントントン♪シャンシャン♪」と鈴やタンバリンで演奏に加わり楽しんでいました。

その後、サンタに扮した職員からプレゼントを受け取り、皆でケーキにデコレーションをして、美味しそうにいただきました。

(イベント担当：松田弥紗)

社会福祉法人  
特養 明尽苑(千葉県)  
施設長：西慶二郎

### 健康長寿・病氣平癒を祈願 新年祈願祭



地域交流スペースを式典会場として利用



神主でもある前理事長によるお誠い

毎年、皆で新年祈願を行います  
私たち特別養護老人ホーム明尽苑では、毎年、新年を迎えると「新年祈願祭」という式典を行っております。この恒例行事も今年で11回目を数えました。

本館1階地域交流スペースに式典会場を設け、前理事長が神主、スタッフが巫女となり、入居者様・利用者様と各部署の責任者が参列し、1年通しての『健康長寿・病氣平癒』を皆で祈願致します。

新しい年の始まりを皆で祈願する事で清らかな気持ちとなり、大切な行事のひとつと考えております。今年も皆様にとって穏やかな1年が過ぎることをお祈りいたします。(担当：仲原啓)



健康長寿・病氣平癒を祈願

# 介護ニュース・ダイジェスト

12月1日～12月28日

厚生労働省や介護関係団体などの動向をまとめました。詳細はHPなどで確認してください。

【東京都】混合介護特区を希望(12月2日)  
小池東京都知事は政府の国家戦略特区・区域会議で混合介護導入について「市区町村などと内容を協議したい」と前向きな姿勢を示した。

【自立支援】で意見書(12月5日)  
全国老人福祉施設協議会(全国老協)は塩崎厚労相に自立支援介護に関する意見書を提出した。政府の未来投資会議で「要介護度を改善させた事業所に介護報酬のインセンティブを与え、取り組まない事業者にはディスインセンティブの仕組みを検討すべき」との意見が出たことに対する反論。「特養では利用者の状態が重くなるのは自然の摂理であり、いわゆる自立支援はあくまでアプリケーション(応用)にすぎない」と批判。

【療養病床特別部会が最終整理案(12月7日)】  
新施設の基準は給付費分科会で議論  
第7回療養病床の在り方等特別部会は、30年3月末で廃止される介護療養病床の転換先として新しい介護施設を創設する最終整理案をまとめた。準備期間や名称などは法案作成までに最終調整する。新施設は「医療内容型(一)」「同(二)型」「医療外付型」の3種類。いずれも医学管理と「生活の場」を提供する。介護報酬や人員・設備などの基準、補給付などの懸案は次の介護報酬改定で決める。一型は介護療養病床、二型は老健施設、外付型は有料老人ホームと同等の基準となる模様。

【介護ロボット導入検証委員会設置(12月7日)】  
塩崎厚労相は未来投資会議で介護ロボット導入による効果や改良点などを調べる「介護ロボット導入効果検証委員会(仮称)」を設置する考えを示した。

【制度改正の意見書まとめ(12月9日)】  
3割負担、評価総報酬などが柱  
第70回介護保険部会は介護保険制度の見直しに関する意見書を取りまとめた。厚労省は報告書や与党の意見を参考に介護保険法改正案を作成し、次の通常国会に提案する。

【地域包括ケアシステムの深化・推進】  
市町村が国の指標に沿った目標を設定して自己評価する。またデータを国に報告する。国は評価結果に応じて市町村に財政的インセンティブを付与する。③居宅介護支援事業所の運営基準の見直しを検討する(管理者の役割などを介護報酬改定時に検討)④ロボット・ICT化について介護報酬や人員・施設基準を見直す(介護報酬改定時に検討)⑤市町村が地域密着型通所介護の指定を拒否できるようにする。など。

◇介護保険制度の持続可能性の確保  
現役並み所得者の自己負担を3割に引き上げる(※30年8月) ②高額介護サービス費の一般区分を3万7200円から4万4400円へ引き上げる(※29年8月、激減措置あり) ③生活援助を中心とするサービスの人員基準を見直す(介護報酬改定時に検討) ④福祉用具貸与の全国平均貸与額を公表し(※30年10月)、福祉用具専門相談員に全国平均価格と複数商品の提示を義務付ける(※30年4月)。また上限を設定する(※30年10月) ⑤介護納付金を「加入者割」から「総報酬割」へ変更は賛否両論とする(※段階的導入29年8月3分の1↓32年4月全面導入) ⑥調整交付金の年齢区分を「65〜74、75〜84、85以上の3区分」に細分化して実態に近付ける(激変緩和措置) ⑦認定有効期間を24か月から36か月へ延長する。など。

【注】ケアプラン作成有料化、各種給付を市町村の地域支援事業(総合事業)移行、被保険者範囲拡大(被保険者年齢見直し)などは見送られた。

【処遇改善加算1万円相当を了承(12月9日)】  
介護給付費分科会  
第133回介護給付費分科会は今年4月の臨時介護報酬改定で介護職員の「処遇改善加算」を拡充する厚労省案(月額1万円相当引き上げ)を了承した。新設の「キャリアパス要件」(①一定基準に基づく定期昇給②勤続年数に応じた昇給③研修や資格の取得に応じた昇給)の3つのどれかを制度化し、併せて「職場環境要件」(賃金以外の処遇改善)をクリアし、就業規則などで職員に周知することが必要。

【業務経験5年以上(12月13日)】  
チームリーダーの位置付け  
厚労省は介護人材の機能やキャリアパス

の在り方を議論している第8回福祉人材確保専門委員会でチームリーダーについて「一定の知識や技術を修得した介護福祉士を位置付けるべき」「介護福祉士として業務経験年数5年以上を目安とする」などと説明した。

【出生数 百万人割り込む(12月21日)】  
厚労省の28年人口動態概観(推計)によると、出生数は98万1000人で100万人台を割る見通し。死亡数は129万6000人。自然減31万5000人。

【29年度政府予算案を閣議決定(12月22日)】  
処遇改善加算に289億円計上  
政府は29年度予算案を閣議決定した。一般会計総額97兆4547億円。社会保障費は自然増分(伸び)が1400億円圧縮され、合計32兆4735億円。

【28年度介護経営実態概況調査(12月28日)】  
特養はマイナス0.5%減  
厚生労働省は第134回介護給付費分科会に28年度介護事業経営概況調査(概況調査)の結果を報告した。27年4月1日の介護報酬マイナスイナス改定が経営を直撃し、改定前と改定後の収支差率を比べると、介護サービス21業種のうち16業種で改定後、収支差率が悪化した。介護老人福祉施設(特養)は26年度収支差率3.0%、27年度収支差率2.5%で0.5%減。老人保健施設は3.9%、3.2%で0.7%減。介護療養型医療施設は6.1%、3.7%で2.4%減となり、施設系は軒並み収支差率が悪化した。介護事業経営調査委員会の委員は「人材難から給与(率)が増え続けており、継続的な財政支援が課題となる。またマイナスイナス改定の影響が予想以上の業種もあり、次の介護報酬改定(30年度改定)までに詳細な分析が要だ」と説明している。

## スバリ回答！ 人事・労務のお悩み

◎65歳以上の雇用保険

【今月の相談内容】

本年1月より、65歳以上の人についても適用要件を満たせば雇用保険の加入対象となる法改正が施行されると聞いています。

具体的な変更内容はどのようなものですか？

【回答】

これまで65歳以上で新たに入社した場合には、雇用保険の被保険者にはなりませんでしたが、本年1月からは1週間の所定労働時間が20時間以上、かつ31日以上雇用見込がある場合、雇用保険の被保険者となります。この適用拡大は、平成28年12月末時点で、入社時に既に65歳以上であったために雇用保険の被保険者とならなかった人にも適用されることになっており、該当者は本年3月31日までに資格取得手続きを行う必要があります。



## 高齢者のリハビリ

【第9回】

高齢者の「虚弱」への対策についてできることからコツコツと……!

最近「フレイル」という言葉を耳にします。これは年齢に伴って筋力や心身の活力が低下した状態を表します。同義語として、「サルコペニア」「ロコモティブシンドローム(通称ロコモ)」等もよく聞かれる言葉です。前者は筋肉量の減少と筋力の低下を特徴とした身体機能障害や生活の質の低下などを伴う症候群を指し、後者は骨や関節、筋肉の障害により歩行や日常生活に支障をきたすことを指します。これらのキーワードに対し、各種団体会等があらゆる手段を講じていることです。



「虚弱」に主眼をおいており、今、日本が目玉にしている超高齢社会という現状において様々な事柄に影響を与えています。介護・福祉業界でも高齢者などの心身機能が低下しないよう様々な対策を講じることが必要になってきます。皆様の施設ではどのような対策をされていますか？より多くの高齢者が活動的な暮らしができるようになることが求められています。テレビや新聞などでも高齢者の虚弱に対し様々な運動や体操、栄養摂取方法等が紹介されています。私たち介護や福祉に携わる者もこれらの問題を直接解決できる「大きな術」をもっていても過言ではありません。

皆様の施設におきましてもご利用者様の健康を維持するために、創意工夫を凝らしながら、より多くの笑顔がみられるよう、できることからコツコツと頑張ってくださいませ。

(社会福祉法人 兼愛会 統括リハビリテーション担当 鳥澤清人)

## 【用語解説】

N3

日本語能力試験(日本語を母国語としない方向けの検定)のレベルの1つで、N1からN5までの5段階あり、N1が最も難しいレベル。N3は日本語のみで日本人と一緒に働くことが可能なレベルとされており、外国人技能実習生の受入れ時はN4程度(小学校低学年程度の理解力)、2年目はN3程度が要件となる見通し。

## 生体電位信号

人が動くこうするとき、脳に発生する電気信号のこと。神経を通じて筋肉に伝達される。最近、この信号を利用した製品が、医療・福祉現場でも利用されるようになってきた。

## 【速報をメールでお送りします】

速報が届いていない施設はメールアドレスを事務局までご連絡ください。

【お問合せ先】事務局 山崎

電話：045(921)0462  
メール：info@suishinkyo.net

## 事務局からのお願い

【支部の活動お知らせください】  
ニュースに掲載いたしますので、支部での活動予定や活動実績等、事務局までお知らせください。

【施設での活動記事募集中】  
施設での取り組みや行事等のエピソードがありましたら、事務局までお寄せください。

平成28年度 ユニットケア研修 受講者募集  
お申込受付中!  
ユニットケア施設管理者研修 第3回管理者研修 2/15~17日 東京会場 (大田区産業プラザPiO)  
お申込みは Web (suishinkyo.net) で

